

第
136
号
(春)

発行 小松市松東公民館（ふれあい松東内）令和5年3月1日
〒923-0181 小松市長谷町49 TEL46-1433（FAX兼用）

松東地区の地域づくりと健康づくりのセンター"ふれあい松東"

松東地区「立志の集い」 夢への挑戦

第36回 松東みどり学園8年生23名が
決意新たに（男子12名・女子11名）



祝 辞



小松市教育委員

式 辞



松東地区校下公民館代表館長

激励の言葉



松東みどり学園校長

第36回松東地区「立志の集い」は、1月28日（土）松東みどり学園8年生23名を迎え、松東みどり学園アクティブルームで開催されました。

式典では先ず始めに、金野校下公民館 坂田 浩幸 館長が式辞を述べられました。その後、小松市教育委員会委員 北村 嘉章 氏が祝辞を松東みどり学園 廣田 恵子 校長が激励の言葉をそれぞれ述べられました。

また、松東地区連合町内会からの記念品を、代表して村田 誠一 氏より生徒代表 山崎 楓采 君に手渡されました。

生徒代表し、折山 琉峨 君が「立志の誓い」の言葉を述べました。

生徒一人一人が、「私たちがこれから大切にしたい言葉・思い」など将来の夢・目標をスクリーンに映し出し力強く述べました。

14歳の節目を地域の皆さんとともに祝いし式を終了しました。

立志の誓い



記念品贈呈



記念写真



誓いの言葉



校下別人口一覧表

R5.1.1現在

	男	女	合 計	世帯数
金 野 地 区	503	557	1,060	456
西 尾 地 区	209	217	426	194
波 佐 谷 地 区	611	650	1,261	578
合 計	1,323	1,424	2,747	1,228

学校だより

第24回 松東みどり学園

後期教頭 山本 幸世

南加賀地区初の義務教育学校である松東みどり学園は、令和3年4月に開校し、今年は2年目を迎えました。今年度はお隣に新しく松東こども園が開園し、義務教育9年間に加え、また新しい学びのつながりが生まれました。昨年は無我夢中で突き進んできた1年間でありましたが、今年は昨年の経験を活かし、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を施しながら、ほぼすべての学校行事を実施することができています。保護者の方の参観を優先させて頂いたため、お世話になっている地域の皆様をお招きできなかったことを大変申し訳なく思っております。

新型コロナウイルス感染症との共存も3年目に入り、学校行事への制限も少しずつ緩和されてきました。今年は3年ぶりに小松市内の全中学校で中学3年生の修学旅行が予定通り実施されました。本校では9年生が5月23日から2泊3日の日程で関東方面に出発しました。幼い時からずっと一緒に過ごしてきたメンバーと修学旅行に行くのは、今しかできない貴重な体験と幸せな時間です。修学旅行には、集団行動を通して規律を守り、責任をもって行動する規範意識を育てることや、問題解決に必要な情報収集、処理能力を身につけ、仲間と協力する態度を育てる、横浜、東京の文化に触れ、歴史や文化に対する理解を深める、などたくさんの視点や目的があります。その一つひとつを彼らはしっかりと理解し、着実に事前の準備を行って出発いたしました。なかでも、日本の唯一の立法機関である国会議事堂に、ふるさと松東地区の観音下石が使われている事を知り、実際に訪れた際には誇らしい思いを抱いたことと思います。3日間の旅行を終え、帰ってきた時の充実した表情には、目標に向かい、理想とする姿に到達した達成感が伺えました。



本来、教育活動には協働の視点が必ずあります。頭から「できない」のではなく、「どうしたらできるのか」という視点で、私たち教職員も児童生徒も考えを巡らし、いろいろな視点から知恵を絞って取り組みました。とりわけ本校の体育祭は義務教育学校にしかできない、見られない光景がたくさん詰まっています。今年度の体育祭スローガンは、「みどりスポーツフェスティバル～みどり enjoy! Pop up! Step up!」とし、低学年の子供たちに9年生の中学生が目線を合わせ、言葉を咀嚼して目的を伝え、そこに向かって支え合いながら共に向かっていく。そこにはこの松東地区で優しく温かく大らかに育てて頂き、強いきずなで結ばれた人間関係が垣間見えます。今年は保護者の皆様に足を運んでいただき、子どもたちの一体感あふれるパフォーマンスをリアルタイムで見て頂くことができました。

また、文化祭では日頃の学習の成果や学年ごとの発表、縦割りでのコーナー企画など、これもやはり他校ではなかなか見ることのできない、9年間の学びの繋がりへの体現であると思っております。これは、本校の教育目標である「自立・協働・創造」のもと、夢を持ち共によりよい未来を創るためにはどうしたらよいのか、児童生徒ならびに教職員で目指してきた成果であると自負しております。

来月には、松東みどり学園の歴史を更新してくれた9年生が第2回卒業生として旅立ちます。先輩からのバトンを受け継ぎ、来年度はまた新しい歴史をUp Dateしていきます。地域の皆様には、今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をお願いするとともに、子どもたちの成長を見守っていただけますよう、何卒よろしくお願い致します。



★★ 令和5年度 市立松東公民館 講座開設と新規募集のご案内 ★★

	講座名	日時	内容	講師	受講料等
1	健康体操 55歳以上 【定員20名程度】 4月11日開始	月2～3回 火曜日 10:00～11:15 〈20回〉 (8・1・2月休み)	楽しく笑顔いっぱい で身体を動かし健康 づくり、体力維持を 図ります	松下 裕子 先生	受講料 4,000円
2	太極拳入門 【定員20名程度】 4月15日開始	第2・4 土曜日 10:00～11:30 〈20回〉	血の流れを促し足腰 の鍛錬に最適な運動 で健康増進を図りま しょう	長谷川里美 先生	受講料 4,000円
3	ポール ウォーキング 【定員15名程度】 4月13日開始	第2・4 木曜日 10:00～11:30 〈12回〉4月～11月	ポールを使って歩く スポーツ。歩行の基 本を学び健康増進を 図ります	竹川 俊昭 先生	受講料 2,400円
4	絵手紙 【定員10名程度】 4月11日開始	第2・4 火曜日 13:00～14:30 〈20回〉(1月休み)	身近にある素材の形 や色を個性で表現す る楽しさを体験しま す	曾我 章 先生	受講料 4,000円 教材費 4,000円 (一括)
5	手づくり 【定員10名程度】 4月12日開始	第2・4 水曜日 13:30～15:30 教室〈12回〉4月～10月 (8月休み) サークル 11月～3月	たんすの中に眠って いる古い布を再利用 して小物などを作っ て楽しむ	北川 浄子 先生	受講料 2,400円 サークル 月 2,000円 教材費実費
6	書道 【定員10名程度】 4月13日開始	第1・3 木曜日 9:30～11:00 教室〈8回〉4月～7月 サークル 8月～3月	実用書道から太筆ま で書に親しみましょ う	中出千恵子 先生	受講料 1,600円 サークル 月 2,000円 教材費実費
7	歴史文化教室 【定員15名程度】	第1回 7月8日(土) 10:30～11:30 〈3回〉	郷土の歴史や自然を 学び幅広く文化に親 しむ	未定	受講料 1回 200円
8	親子 ものづくり 【親子10組】	6・10月 第2土曜日 9:30～11:30	①木工工作 ②新聞紙でエコバッ グ	①小倉 政信 先生 ②北川 浄子 先生	受講料 大人 200円 子ども 100円 材料費実費

☆市主催講座の受講料「1回につき 大人200円、子ども100円」が必要となります。

受講料は講座の1回目一括払いをお願いいたします。

また、いったん納入いただいた受講料につきましては、払い戻しはできませんのでご了承下さい。

申込み方法

3月14日(火) 午前9時より受付を開始します

＊窓口・電子申請サービスでお申込下さい。

【希望講座名・お名前・住所・電話番号・メールアドレス】をお知らせ下さい。

＊定員を超えた場合は抽選になります。 ＊引き続き受講される方もお申込下さい。

問合せ

小松市立松東公民館

〒923-0181 小松市長谷町49番地

電話・FAX 46-1433

E-mail: shoto-k@city.komatsu.ishikawa.jp

令和4年度 教室活動

親子ものづくり教室

親子で作って遊べる木工工作に挑戦

6月11日(土)

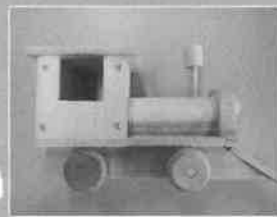


「汽車づくり」

講師

小松製作所 OB

小倉 政信 氏



絵手紙教室



書道教室



太極拳教室



ノルディック教室



健康体操教室



手作り教室



歴史文化教室

演題 ふるさとの遺跡

「六橋遺跡の発掘から」

10月8日(土)

講師 小松市埋蔵文化財センター

横幕 真 氏

橋本 秀生 氏



六橋遺跡の発掘調査から

辛夷句会

ひまわりの丘

ひまわりの丘光背に村の過疎

ふみ子

冬瓜を嫌ふ理由を滔滔と

澄子

日向ぼこ豆選る姉に寄り添ひて

あさ子

陽を厭ふ母を誘ふや日向ぼこ

桃子

我が心荒野に迷ふ片時雨

晋一

去年今年

去年今年七十六年生きてきた

晋一

八十路過ぎはつらつウオーク去年今年

澄子

しょう害も齢も深む去年今年

ふみ子

労り夫婦の暮らし去年今年

あさ子

おだやかに家電に応ふ去年今年

桃子

編集後記

今年もよろしく願います。

手洗い・消毒・マスクの着用を忘れず新型コロナウイルス感染拡大防止に努めましょう。

◆松東公民館◆

館長

丸 忠

主事

山本美由紀

ふれあい松東

管理指導員

山下 清美